

科目名	学科	学年	単位	教科書（発行者）	副教材等
地理B	国際交流科	2	2	新詳地理B（帝国書院）	新編地理資料2018（とうほう），新地理要点ノート18（啓隆社）

科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化などを通して、現代社会の特色を探る。</li> <li>・地理的学習を通して、世界の諸問題について考え、自分の意見を述べられるような力を身につける。</li> </ul>
---------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	単元・題材	学習項目	学習のねらい（到達目標）
一	4	自然と生活	生活の舞台としての地形 ・世界の大地形 ・外的営力によって作られる小地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地形に住む人々の地形と生活の関わりを写真などを通して理解する。</li> <li>・営力的分類からそれぞれの地形の特徴と災害と恩恵などを理解する。</li> <li>・地図記号や等高線など地形図の基本的な事項を理解し読図する。</li> </ul>
	5		地形図の利用	
	6	生活に影響を及ぼす気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候の成り立ち</li> <li>・気候の三要素</li> <li>・世界の気候区分</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候要素についての知識を身につけ、世界各地の生活と気候の密接な関係について理解する。</li> <li>・ケッペンの気候区分を指標とした世界各地の気候の特徴をとらえ、世界の気候が多様であることを理解する。</li> <li>・ケッペンの気候区分を白地図を利用して区分することができる。</li> </ul>
			熱帯 乾燥帯 温帯 亜寒帯 寒帯	
7		日本の自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然の特徴と人々の生活について理解する。</li> </ul>	
二	9	資源と産業	世界の農業 ・自給的農業 ・商業的農業 ・企業的農業 ・日本の農業 世界の水産業・林業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分布地域や生産の仕方に応じた特徴があるか理解する。</li> <li>・農産物の地域的つながりや輸出地域を理解する。</li> <li>・日本の農業の特徴を他地域と比較して整理する。</li> <li>・それぞれの問題点と課題を探る。</li> </ul>
	10		世界の食糧問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白地図を利用し、分布や特徴をとらえる。</li> </ul>
	11		資源の生産と消費 エネルギー資源の分布 鉱産資源の分布 資源問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフから、各エネルギーの資源の構成や分布等の特徴をとらえる。</li> <li>・新エネルギーの現況と今後の課題をとらえる。</li> </ul>
	12		工業の発達と立地 業種と特色 主要国の工業地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命後の工業成立の歴史や業種の違いによる特徴をとらえる。</li> </ul>
三	1	生活と文化	衣食住 消費と余暇活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風土の違いによって食物や衣食住、宗教などの地域差があることを理解する。</li> </ul>
	2		村落と都市 村落の形態・発達 都市の立地・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村落の立地を自然条件、時代の変化などからとらえる。</li> <li>・都市の立地と機能について、特徴を整理する。</li> </ul>
	3			

評価の観点・評価の方法	◎評価の観点			
	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 of 技能	知識・理解
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。
◎評価の方法 「評価の4観点に基づいた評価、授業中の態度や発表、課題の提出、小テスト、レポート、定期考査の成績、出席状況を総合して評価する。」				